

コロナ禍で経営環境が悪化した飲食テナント業から経営再起を支援

レジデンス ホテル ゴビン

ホテル事業に業種転換し「Residence Hotel GOBIN」をオープン

支援企業 有限会社 西谷商事 代表取締役 西谷 英樹 氏



支援企業の声

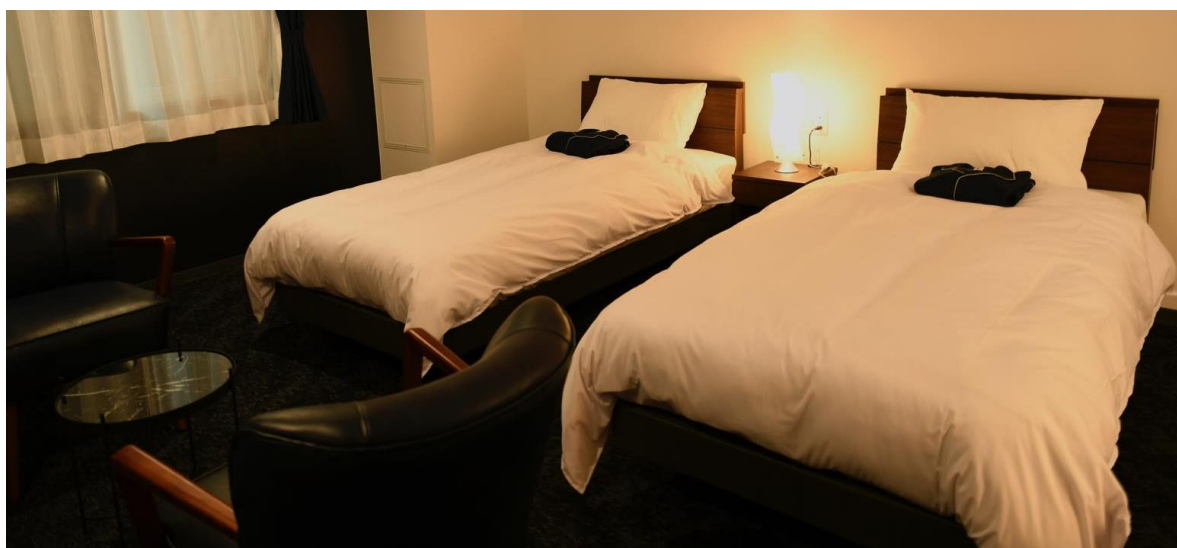
～相談の経緯～

コロナ禍で飲食店の経営が厳しくなり当社のテナント収入も大きく減少し経営環境が悪化する中、事業再構築補助金を活用してホテル事業に転換できないかと考え留萌商工会議所の開催する補助金セミナーに参加しました。事業再構築補助金の申請には事業計画書等の膨大な資料作成が必要であり、私個人での申請は難しいと考え、経営コンサルタント会社に依頼する事も考えましたが、多額の報酬・費用面の負担も大きく、留萌商工会議所の経営指導員に相談をしました。

補助金申請にあたっては、相談当初から私の構想を理解していただき、事業計画書などの申請書類の作成、宿泊需要などのデータ収集などがスムーズにできたことで、1回目の申請で無事に事業再構築補助金の採択につながり感謝の気持ちでいっぱいです。

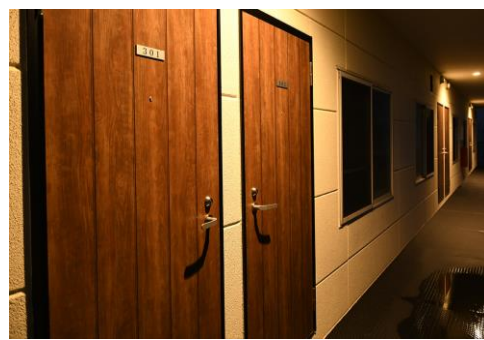
【GOBIN I (本館)】

飲食テナントを改修したGOBIN I (本館)は、観光やワーケーションでの利用を想定した広い客室展開となっており、シングル1室、デラックスツイン3室の全4室。チェックインは本館にある自動チェックイン機で行い無人化を図っています。



【GOBIN II (別館)】

旧集合住宅を改修したGOBIN II (別館)は、家具家電、生活備品類備え付けの中長期滞在型ゲストルームとなっておりシングル12室となっています。



～ 新事業をスタートして苦労したこと ～

補助事業の採択を受けて事業実行へ移った後、実績報告の書類作成など莫大な資料提出や、私自身、得意ではないJグランツによる電子申請なども、経営指導員等のサポートもあり助かりました。また、建物の工期に遅れができましたがテナントビルと集合住宅の2棟とも無事に改修が終わりオープンすることができました。(※下記は改修工事の様子)



～ 現在の経営状況と当所の経営支援について ～

ホテル事業は未経験での挑戦なので少し不安もありますが、留萌管内初の自動チェックインシステムを導入し人手不足の解消と人件費の抑制、宿泊サイトやSNSを活用する戦略で収益確保と稼働率を維持しており、リピートするお客様も多く安定した経営ができています。また、経営指導員との意思疎通もしっかりできて私の考えも理解してもらい、実績報告も含め一生懸命サポートしていただき本当に感謝しています。



自動チェックインシステム

< Residence Hotel GOBIN お問い合わせ >

TEL : 080-4436-0051 電話受付 / 月曜～土曜 9:00～17:00

GOBIN I (本館) 留萌市開運町2丁目132番地 / GOBIN II (別館) 留萌市開運町2丁目7番12号

支援担当 経営指導員より

コロナ禍で西谷社長の飲食テナントも7店舗入居のあったテナントが2店舗にまで減少し大きな影響を受けており、経営の再起を図るため事業再構築補助金の申請をしたいというご相談をお受けました。補助金申請には実現可能性の高い事業計画書が必要であることから、「対話と傾聴」を通じて西谷社長が考えている事業内容について聴き取りを行い、市場や競合他社の動向に関する分析等、当地域近隣での防災工事や風力発電事業に従事する作業員の宿泊需要が高い点に着目しました。そこから中長期の宿泊需要が見込まれる点について事業計画に落とし込み、何度もブラッシュアップを行うことで補助事業の採択につなげることができました。また、申請・実績報告は、電子申請となっており、申請方法の細かい説明の他、各証憑書類や補助金のルールなど不備が出ないように支援を行いました。ホテル開業後は、リピート率向上や建設関連企業からの中長期宿泊需要の獲得に繋がっていますが、今後も継続的なフォローアップを行っていきます。

信頼され頼られる商工会議所を目指して



留萌商工会議所

留萌商工会議所
LINE公式
アカウント ⇒

